



おもしろい楽しきつぱいのファーム

金丸弘美
食総合プロデューサー

三重県伊賀市にある「モクモク手づくりファーム」は農業をメインとした観光農場で、レストランや農家の直売所やパン工房、ビール工房、宿泊施設、温泉などがある。

年間五十万人も集まる。もともと山間地で食事をするところはなかったところだ。今ではbuffetフレストランや農産物の直売所などができ、園内には、手作りのイベントが開催され多くの人がやってくるようになった。

養豚農家が集まりハムやウインナーなどの加工施設を作ったのが始まりで、そのあとにさまざまな施設を増設していった。すべて手づくりの物づくりをすることがメイン。パンは地元小麦を使った焼きたてが出てくる。ビールもモルトから作る地ビールといった具合だ。野菜やコメづくりもやっている。

ちょっととした人気になってるのがジェラード。日本ではあまり飼われていないジャージー牛の搾りたてミルクから生まれたものだ。レストランで食べるヨーグルトはブレイン、こっそりしていてミルク本来の優しい甘さと爽やかな酸味をもったものだ。

園内には宿泊施設があって、泊った早朝には牧場での乳搾り体験ができる。そしてレストランに行くと、ミルクやヨーグルトがあるというわけである。

食のことを伝えようということから、ウインナーづくり、豚まん、イチゴ大福体験教室、アイスクリーム作りなどさまざまな体験がある。そのため専任チームがあり、年間二百本近くが運営されている。なるほど、みんなが来るわけで、一日いても楽しめる仕組みになっている。

なかでも大人気になっているのが、ゴールデンウィークと秋の体育の日の年間二回開催される「モクモクダービー」だ。

豚を走らせる。それを参加者が予想をして投票をするのである。

もともとは和歌山県すさみ町で行われていたものにヒントを得て生まれたものだそうだが、今では本場をしのぐ大人気イベントになっている。

レース場が用意されていて、入場的时候は、地元演奏家に頼んでファンファーレを生で演奏するという凝りよう。

園内で買い物をする
と百円につき百ブー
券がもらえて、五百
ブーで投票ができる。

一周百メートルの
レース場を七頭の豚
が競う。豚はジョッキ
ーがついて追いか
けての競争になるの



ウインナーの「豚巻串」

だ。入場者からジョッキーが募集される。優勝すると景品がもらえる。投票は連勝複式で、投票した人もあたると景品がもらえる。

レースをみていると豚はきままで途中で戻ったり、他の方に行ったりと、思い通りに走ってくれない。予想どおりにならないのが面白い。

驚いたのが、このレースのために「ダービー新開豚スポ」という予想新聞まで作られていることだ。十レースの七十の豚に「トナリノトントロ」と



モクモクのダービー場

ことんくん」など名前が掲載されている。新聞には、予想だけではなく園内のポニーの乗馬体験、羊のえさやり、ミニ豚芸などいくつもの催しが紹介され、家族で楽しめるようになっていく。

面白かったのが「スキップじゃんけん」と呼ばれるじゃんけんゲーム。入場すると丸い豚の絵が入ったワッペンが一枚もらえる。五種類があって、それを知らない人からじゃんけんして勝って取る

ゲーム。五色五種類を集めるとバッチがもらえる。園内のそこで、子供たちが知らない大人たち相手にじゃんけんをして盛り上っている。

また、あちこちで飲み物や食べ物の屋台が出て、これがとても食をそえられる。なかでも大きな骨付きのスペアリブには魅せられた。それと大鍋で茹でられる「ロングロングクインナー」。一メートルもあるもので、これを割った青竹に入れて、長いままに渡してくれる。家族や恋人同士で買って食べている人が多く、じつに美味しそう。悩んで選んだのが、くるくるとウインナーを巻いて串に刺した「豚巻串」。イタリア料理の手づくりソーセージに「サルシッチャ」という同じようなものがあることをあとで知ったが、それをヒントに生まれのだろう。くるくる巻いた大きなウインナーはとても素敵だった。

素材がしっかりしていて、作りたてが出てくるから、豚肉のもっているそのものの味わいが口のなかに広がっていく。

食べ終わってふと横をみると、ゲーム式のゴミ箱がある。ちよつとゲームになっていて「スペアリブはどの部位？」と書いてあり、「すね」「うで」「あばら」という三つの穴があって、そこに考えながら入れる。その隣には、秤の上に器があって「今日の食べ残し」とあった。食べることを、ちよつと考えてみる仕組みになっている。

園内を歩くと、いたるところにゲーム感覚の掲示があつて、おもわず考えたり、立ち止まったり、笑つたりという工夫が凝らされていた。たとえば「豚さんが一日食べるエサ」・六キロびつたり当てようゲーム」というのがあつて、餌を実際に袋に入れてはかつたり、坂道を歩くと消費カロリーが何キロカロリーになるかなど、食と健康と環境を中心に園内が遊び心でいっぱいなのである。